

2013年(平成25年)8月16日 金曜日 (2)

大島で海水浴

米の大学生と
福島の子供ら

気仙沼市大島や福島の小・中学生、米国の大学生が集つ「KAN KANサマーキャンプin大島」が13日から始まった。現役アスリートの大生とさまざまなスポーツや浜遊びを通して、交流を深めている。

米国政府と支援団体



サマーキャンプin大島で浜遊び

「米日カウンスル」などが進める、TOMO D A T Iプロジェクトの一環。国際的な人材の育成につなげよう。と、他文化交流をサポートする長野県の環境自然村、東京都のS

COA(スコア)が企画した。

福島からの53人、米大学生13人は3泊4日の日程で大島に滞在。14日の浜遊びでは、震災後初めての海水浴となる子供もおり、海水の冷たさや波の感触に「気持ちいい」と笑顔があふれ、夏休みを満喫していた。

須賀川市立西袋中の塩谷晃仁君(2年)は「大島は森も海もきれいで、3年ぶりの海水浴は気持ちよかった。文化の違いにも触れ、外国に行きたい気持ちも強くなった」と話した。